

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公開番号】特開2015-62617(P2015-62617A)  
 【公開日】平成27年4月9日(2015.4.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-023  
 【出願番号】特願2013-199421(P2013-199421)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月25日(2015.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄が施され、回転駆動される複数のリールと、  
回転中の前記複数のリールを停止させるために操作されるストップボタンと、  
数値を更新する数値更新手段と、  
第一の抽選手段と、  
前記第一の抽選手段とは異なる第二の抽選手段と、  
処理の進行を遅延させる遅延手段と、を備え、  
前記第一の抽選手段による抽選の結果および前記ストップボタンに対する操作の結果に  
基づいて回転中の前記複数のリールを停止させ、停止された前記複数のリールの態様に  
応じた利益を付与する遊技台であって、  
前記数値更新手段は、  
第一の数値更新手段、および該第一の数値更新手段とは異なる第二の数値更新手段で構  
成されるものであり、  
前記第二の数値更新手段は、  
更新している数値を所定の周期で一周させるものであり、  
前記第一の抽選手段は、  
前記第一の数値更新手段から数値を取得し、取得した該数値を用いた判定を行うもので  
あり、  
前記第二の抽選手段は、  
所定の抽選によって所定の結果が導出されるまで該所定の抽選を繰り返し行うループ抽  
選を行うことが可能であり、  
前記所定の抽選として、前記第二の数値更新手段から数値を取得し、取得した該数値を  
用いた判定を少なくとも行い、  
前記ループ抽選における前記所定の抽選を遊技操作なしに行うことが可能なものであ  
って、  
前記所定の抽選における数値の取得から次の前記所定の抽選における数値の取得までの  
期間が少なくとも前記所定の周期以上となるように、前記ループ抽選を行うものであり、  
前記遅延手段は、

前記ループ抽選と並行して処理の進行を遅延させることが可能なものであることを特徴とする遊技台。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技台は、複数種類の図柄が施され、回転駆動される複数のリールと、回転中の前記複数のリールを停止させるために操作されるストップボタンと、数値を更新する数値更新手段と、第一の抽選手段と、前記第一の抽選手段とは異なる第二の抽選手段と、処理の進行を遅延させる遅延手段と、を備え、前記第一の抽選手段による抽選の結果および前記ストップボタンに対する操作の結果に基づいて回転中の前記複数のリールを停止させ、停止された前記複数のリールの態様に応じた利益を付与する遊技台であって、前記数値更新手段は、第一の数値更新手段、および該第一の数値更新手段とは異なる第二の数値更新手段で構成されるものであり、前記第二の数値更新手段は、更新している数値を所定の周期で一周させるものであり、前記第一の抽選手段は、前記第一の数値更新手段から数値を取得し、取得した該数値を用いた判定を行うものであり、前記第二の抽選手段は、所定の抽選によって所定の結果が導出されるまで該所定の抽選を繰り返し行うループ抽選を行うことが可能であり、前記所定の抽選として、前記第二の数値更新手段から数値を取得し、取得した該数値を用いた判定を少なくとも行い、前記ループ抽選における前記所定の抽選を遊技操作なしに行うことが可能なものであるであって、前記所定の抽選における数値の取得から次の前記所定の抽選における数値の取得までの期間が少なくとも前記所定の周期以上となるように、前記ループ抽選を行うものであり、前記遅延手段は、前記ループ抽選と並行して処理の進行を遅延させることが可能なものであることを特徴とする遊技台である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0341

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0341】

以上説明したように、上記実施形態に係る遊技台（例えば、スロットマシン100）は、複数種類の図柄が施され、回転駆動される複数のリール（例えば、リール110～112）と、回転中の前記複数のリールを停止させるために操作されるストップボタン（例えば、ストップボタン137～139）と、数値を更新する数値更新手段（例えば、図83に示す乱数値生成回路316の数値更新回路A、B）と、第一の抽選手段（例えば、図14に示す入賞役内部抽選処理）と、前記第一の抽選手段とは異なる第二の抽選手段（例えば、図74に示す代替ループ抽選処理CのステップS5203～S5205）と、処理の進行を遅延させる遅延手段（例えば、図74に示す代替ループ処理CのステップS5201やステップS5206）と、を備え、前記第一の抽選手段による抽選の結果および前記ストップボタンに対する操作の結果に基づいて回転中の前記複数のリールを停止させ、停止された前記複数のリールの態様に応じた利益を付与する遊技台であって、前記数値更新手段は、第一の数値更新手段、および該第一の数値更新手段とは異なる第二の数値更新手段で構成されるものであり、前記第二の数値更新手段は、更新している数値を所定の周期で一周させるものであり、前記第一の抽選手段は、前記第一の数値更新手段から数値を取得し、取得した該数値を用いた判定を行うものであり、前記第二の抽選手段は、所定の抽選によって所定の結果が導出されるまで該所定の抽選を繰り返し行うループ抽選を行うことが可能であり、前記所定の抽選として、前記第二の数値更新手段から数値を取得し、取得した該数値を用いた判定を少なくとも行い、前記ループ抽選における前記所定の抽選を

遊技操作なしに行うことが可能なものであって、前記所定の抽選における数値の取得から次の前記所定の抽選における数値の取得までの期間が少なくとも前記所定の周期以上となるように、前記ループ抽選を行うものであり、前記遅延手段は、前記ループ抽選と並行して処理の進行を遅延させることが可能なものであることを特徴とする遊技台である。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０３４２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０３４２】

上記実施形態に係る遊技台によれば、第一の抽選手段と第二の抽選手段とで異なる数値更新手段から数値を取得して判定を行うため、第一の抽選手段による抽選結果から、第二の抽選手段におけるループ抽選の結果が推測されてしまうような事態を未然に防止することができ、遊技の公平性を担保できる場合がある。また、遅延手段によってループ抽選の終了後に実行される処理の進行を遅延させることが可能なため、ループ抽選に要する時間に時間差（バラツキ）がある場合でも、当該ループ抽選の終了後に実行される処理の開始タイミングの時間差を従来よりも減らすことが可能となる。この結果、ループ抽選の終了後に実行される処理の開始タイミングの違いによってループ抽選の結果が推測されてしまうような事態を未然に防止することができ、ループ抽選の結果を、より一層、推測させ難くすることができる場合がある。